

# 京都府漁海況情報

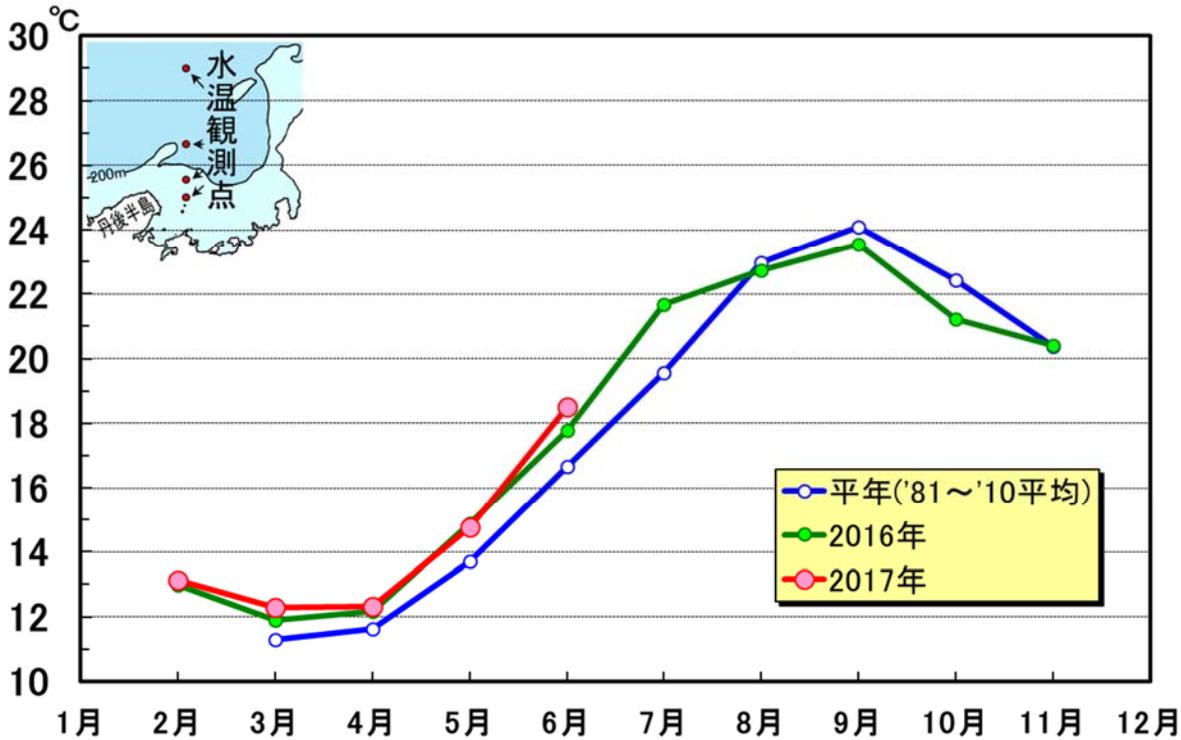
京都府農林水産技術センター海洋センター 研究部  
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>  
 電話:0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

## 海の状況

### 【現況】

平成 29 年 4~6 月における京都府周辺の表層水温は、「平年よりやや高め」~「平年よりはなはだ高め」で推移していました。

京都府沖の表層水温(0~50m 深平均)



京都沖水温の平年および前年との比較

	4 月	5 月	6 月
京都沖の表層水温	12.3 °C	14.8 °C	18.5 °C
前年比	+0.1 °C	-0.1 °C	+0.7 °C
平年比	+0.7 °C (やや高め)	+1.1 °C (やや高め)	+1.8 °C (はなはだ高め)

4~6 月の天気まとめ

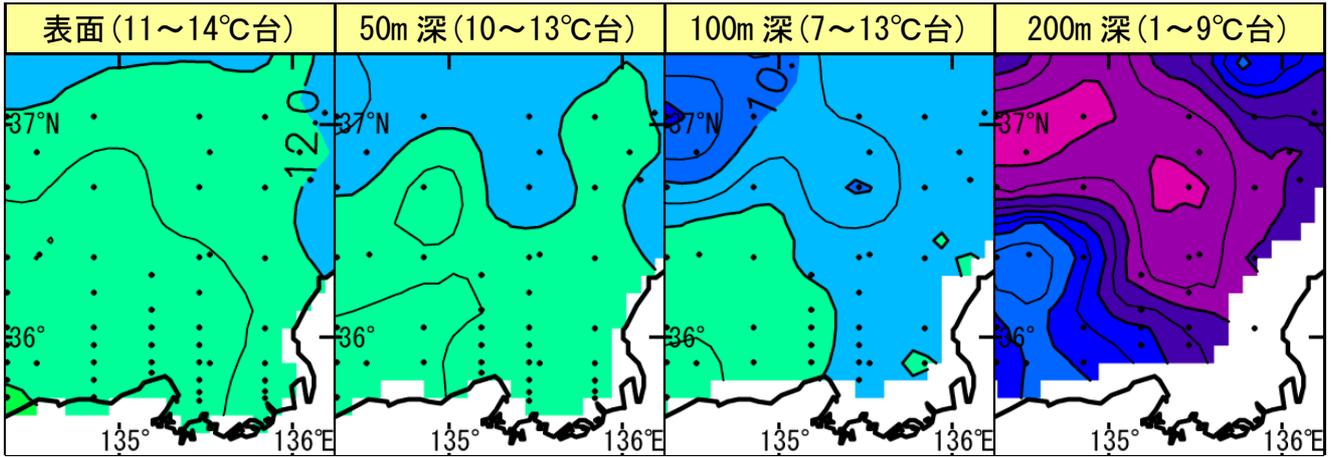
京都北部周辺の平均気温	平年より高かった。
京都北部周辺の降水量	平年よりかなり少なかった。

資料元：気象庁

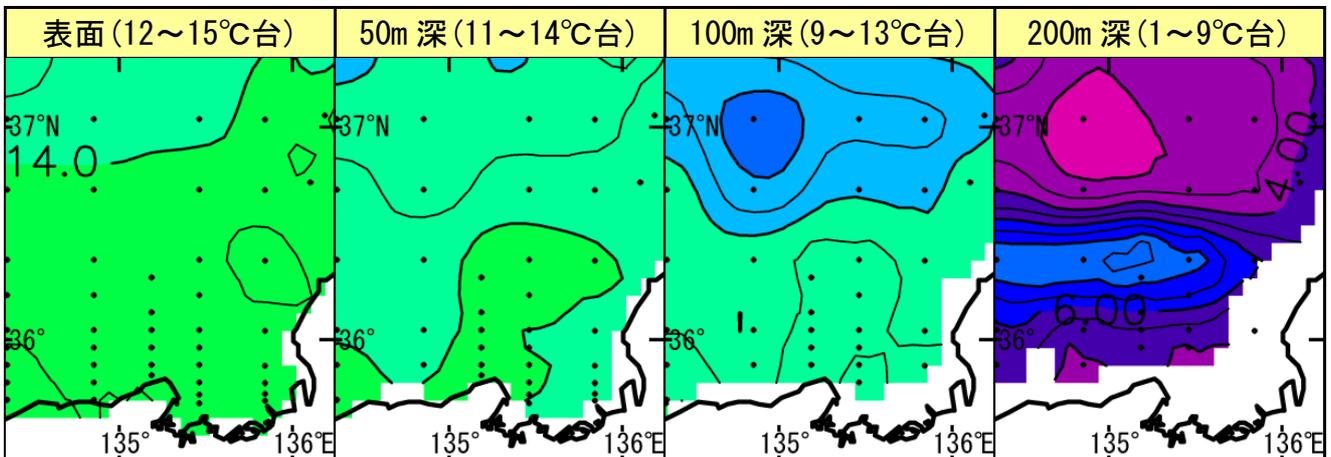
京都府周辺の各層水温(2017年4~6月)

4月上旬

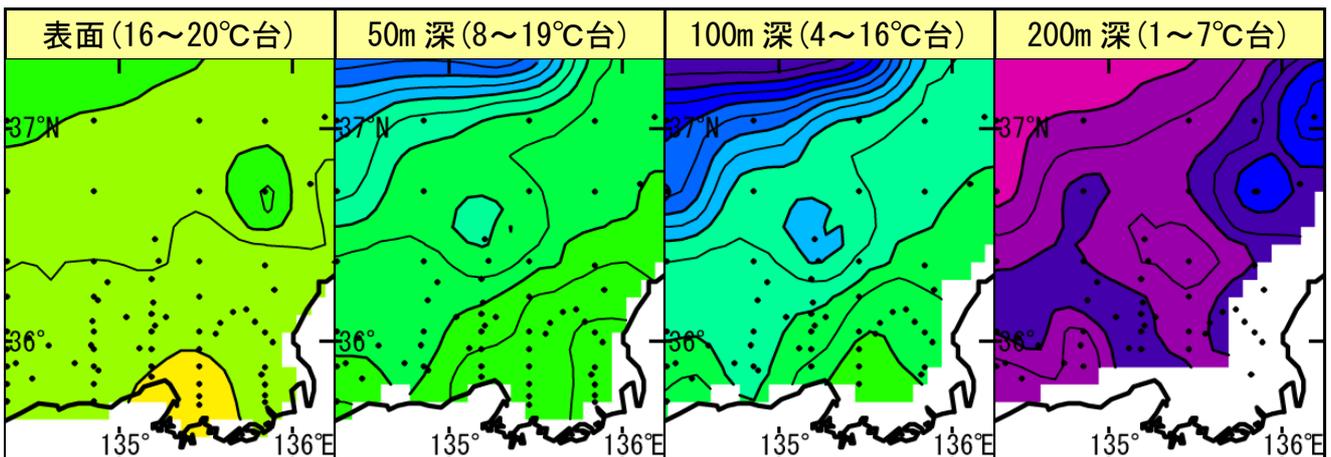
資料元：日本海区水産研究所



5月上旬



6月上旬



【今後の見込み】

資料元：気象庁

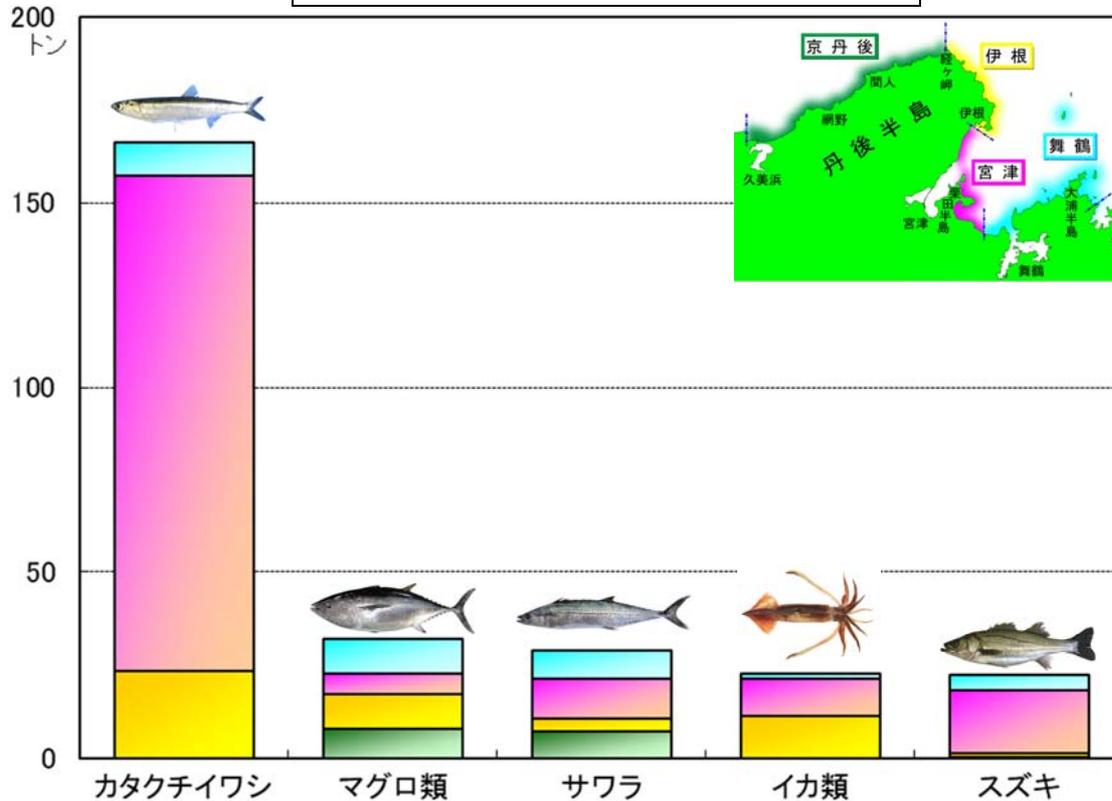
向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	「平年並み」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	平年より「強い」で推移する見込み

# 漁模様 2017年3月～5月

## 《定置網漁業》【3月】

マグロ類が平年の11倍（前年の15倍）、スズキが平年の2.2倍（前年の1.1倍）と好調でした。一方、サワラが平年の4割強（前年の4割弱）、マアジが平年の1割強（前年の1割強）と低調でした。全体では平年の5割弱（前年の1.1倍）と低調でした。

2017年3月の地域別漁獲量(上位5魚種)



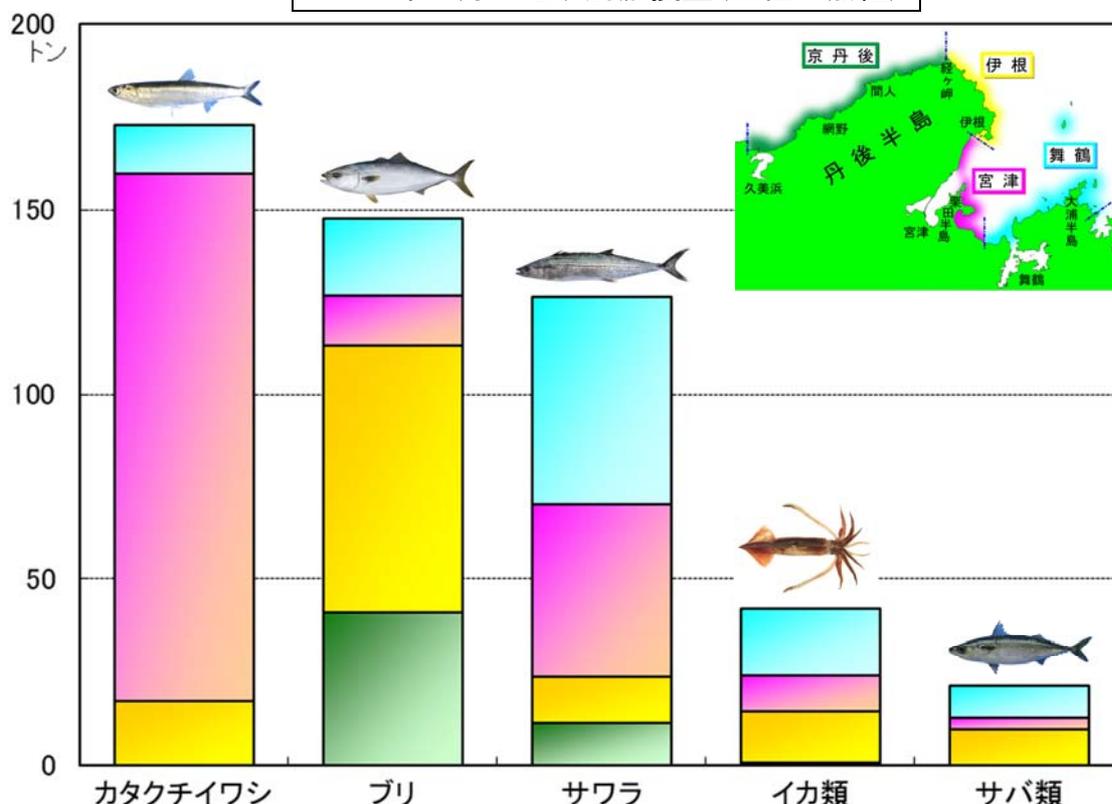
3月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ(たれ)	166.4	47.5 (350%)	311.6 (53%)	<カタクチイワシ> 体長は3cm～7cm台でした。
マグロ類	31.9	2.2 (1465%)	2.9 (1116%)	<マグロ類> 小型魚(30kg未満)が9割弱 でした。
サワラ	29.0	81.3 (36%)	71.5 (41%)	<サワラ> さわら銘柄(体重1.0kg以上 3.0kg未満)が5割弱、さごし銘 柄(体重0.4kg以上1.0kg未 満)が4割強、さわら大銘柄 (体重3.0kg以上)が1割強で した。
イカ類	22.9	13.8 (165%)	20.8 (110%)	<イカ類> スルメイカが9割弱などで した。
スズキ	22.3	20.0 (111%)	10.3 (217%)	
マアジ	6.6	50.7 (13%)	56.6 (12%)	
ブリ	6.2	19.6 (32%)	7.8 (80%)	
カレイ類	3.6	5.1 (72%)	2.4 (150%)	
カナガシラ	3.5	4.7 (73%)	6.5 (53%)	
タイ類	3.2	3.0 (106%)	1.3 (235%)	
その他	18.4	47.9 (39%)	165.3 (11%)	
合計	314.0	295.8 (106%)	657.0 (48%)	

平年は過去10年平均

## 【4月】

ブリが平年の2.8倍（前年の1.1倍）、サバ類が平年の4.2倍（前年の13倍）と好調でした。一方、マアジが平年の2割（前年の2割弱）と低調でした。全体では平年の7割（前年の1.1倍）でした。

2017年4月の地域別漁獲量(上位5魚種)



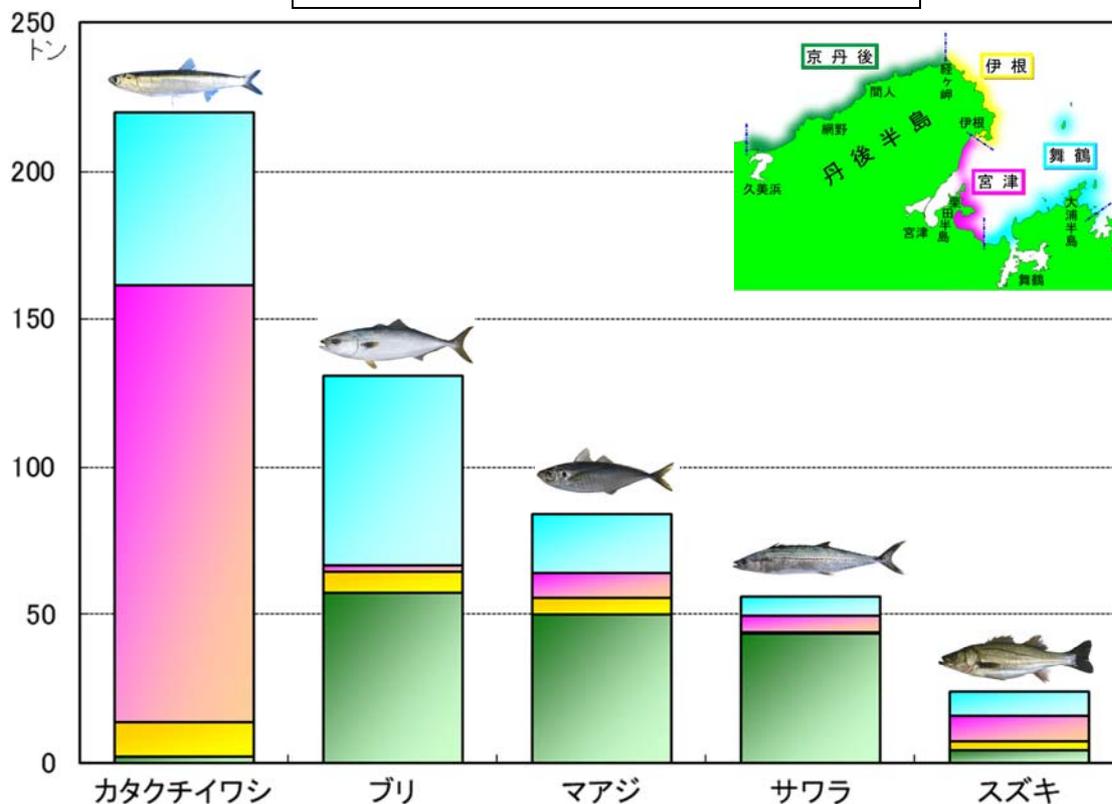
4月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ(たれ)	172.7	64.9 (266%)	460.3 (38%)	<カタクチイワシ> 体長は4cm~10cm台でした。
ブリ	147.5	135.7 (109%)	53.2 (277%)	<ブリ> ぶり銘柄(体重4kg以上)が7割強、つばす銘柄が2割弱、まるご銘柄が1割、はまち銘柄がごくわずかでした。
サワラ	126.3	81.6 (155%)	142.7 (89%)	<サワラ> さごし銘柄(体重0.4kg以上1.0kg未満)が6割弱、さわら銘柄(体重1.0kg以上3.0kg未満)が3割強、さわら大銘柄(体重3.0kg以上)が1割強でした。
イカ類	42.0	21.8 (193%)	27.9 (151%)	<イカ類> スルメイカが9割弱、ケンサキイカ(白いか)が1割弱などでした。
サバ類	21.5	1.7 (1300%)	5.1 (424%)	<サバ類> 22~36cm台でした。
マアジ	19.3	107.9 (18%)	97.6 (20%)	
スズキ	17.2	26.5 (65%)	15.0 (115%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	12.9	39.5 (33%)	9.7 (133%)	
マルアジ	8.3	4.7 (178%)	7.8 (107%)	
タイ類	6.3	14.9 (42%)	9.2 (68%)	
その他	34.0	41.6 (82%)	86.8 (39%)	
合計	608.1	540.7 (112%)	915.4 (66%)	

平年は過去10年平均

## 【5月】

サワラが平年の1.2倍（前年の1.5倍）と好調でした。一方、マアジが平年の4割強（前年の6割強）と低調でした。全体では平年の7割弱（平年の1.2倍）でした。

2017年5月の地域別漁獲量(上位5魚種)



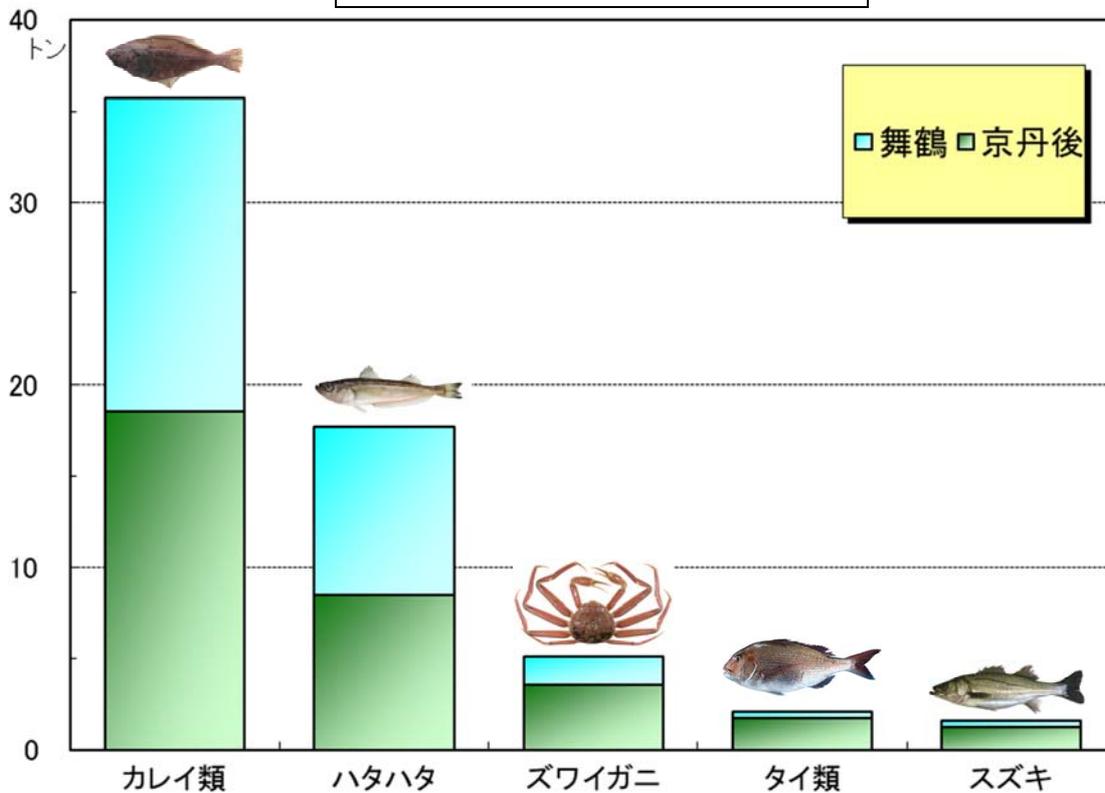
5月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ(たれ)	219.7	167.4 (131%)	279.4 (79%)	<カタクチイワシ> 体長は5cm~9cm台でした。
ブリ	130.5	76.0 (172%)	244.3 (53%)	
マアジ	83.8	134.9 (62%)	191.9 (44%)	<ブリ> つばす銘柄が8割強, ぶり銘柄(体重4kg以上), まるご銘柄が1割弱, はまち銘柄がごくわずかでした。
サワラ	56.1	38.1 (147%)	48.5 (116%)	
スズキ	24.0	36.9 (65%)	18.3 (131%)	<サワラ> さごし銘柄(体重0.4kg以上1.0kg未満)がほとんどでした。
イカ類	19.9	11.1 (180%)	19.7 (101%)	
トビウオ類	16.7	15.1 (111%)	11.2 (150%)	<イカ類> ケンサキイカ(白いか)が5割弱, スルメイカが4割弱などでした。
マルアジ	9.8	4.2 (233%)	9.6 (102%)	
ヒラマサ	9.3	6.7 (139%)	5.5 (168%)	
タイ類	9.2	10.4 (89%)	10.1 (91%)	
その他	60.6	37.8 (160%)	84.2 (72%)	
合計	639.7	538.6 (119%)	922.8 (69%)	

平年は過去10年平均

# 《底曳網漁業》【3月】

全体の水揚量は、平年の8割強(前年の1.2倍)でした。

2017年3月の漁獲量(上位5魚種)



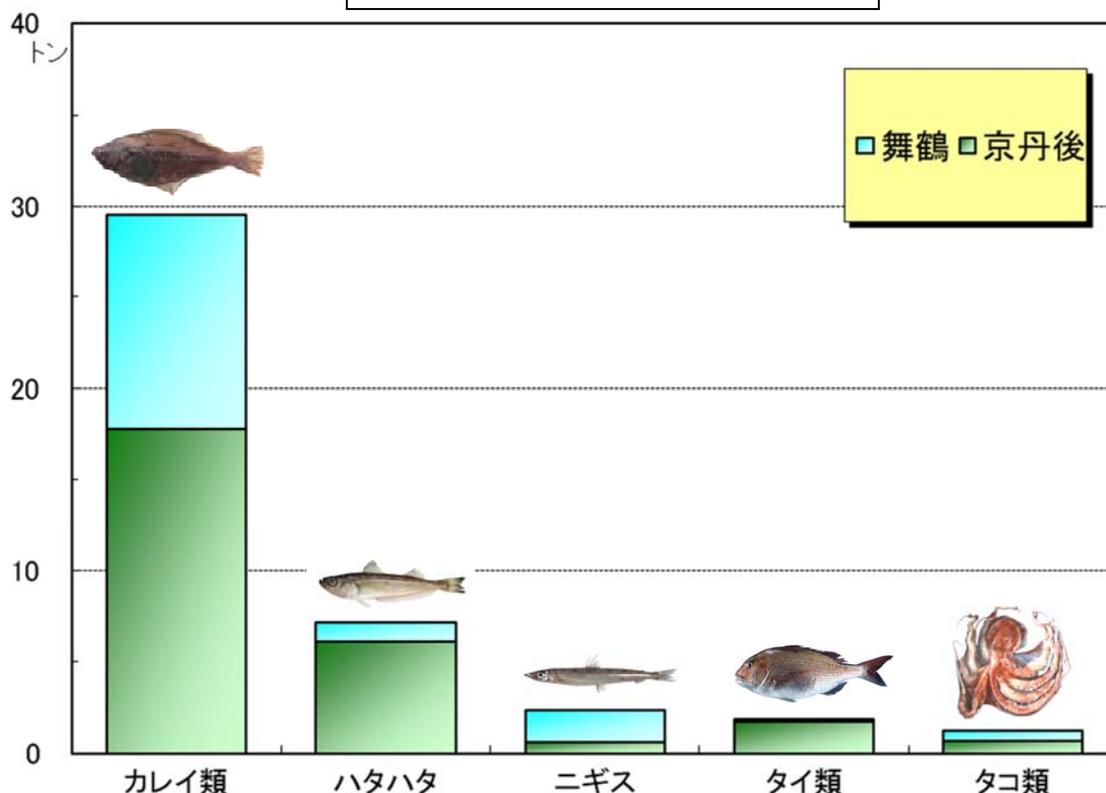
3月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	35.7	26.6 (134%)	35.2 (101%)	<ズワイガニ> すべて雄ガニでした。
ハタハタ	17.7	18.7 (95%)	38.5 (46%)	
ズワイガニ	5.1	4.4 (116%)	3.6 (141%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が6割強, ソウハチ(えてがれい)が2割強, ヒレグロ(黒かれい)が1割強など でした。
タイ類	2.1	1.0 (205%)	2.0 (103%)	
スズキ	1.6	2.3 (69%)	1.0 (155%)	
タラ類	1.3	0.7 (181%)	0.2 (522%)	<タイ類> マダイが8割弱, チダイが1割強 などでした。
エビ類	1.3	1.8 (70%)	1.2 (109%)	
ニギス(沖きす)	1.1	0.4 (285%)	0.8 (142%)	
タコ類	0.9	1.0 (95%)	0.9 (107%)	
アンコウ	0.8	0.4 (197%)	0.9 (87%)	
その他	7.9	6.0 (132%)	5.7 (138%)	
合計	75.4	63.3 (119%)	90.0 (84%)	

平年は過去10年平均

## 【4月】

全体の水揚量は、平年の6割強(前年の8割強)と低調でした。

2017年4月の漁獲量(上位5魚種)



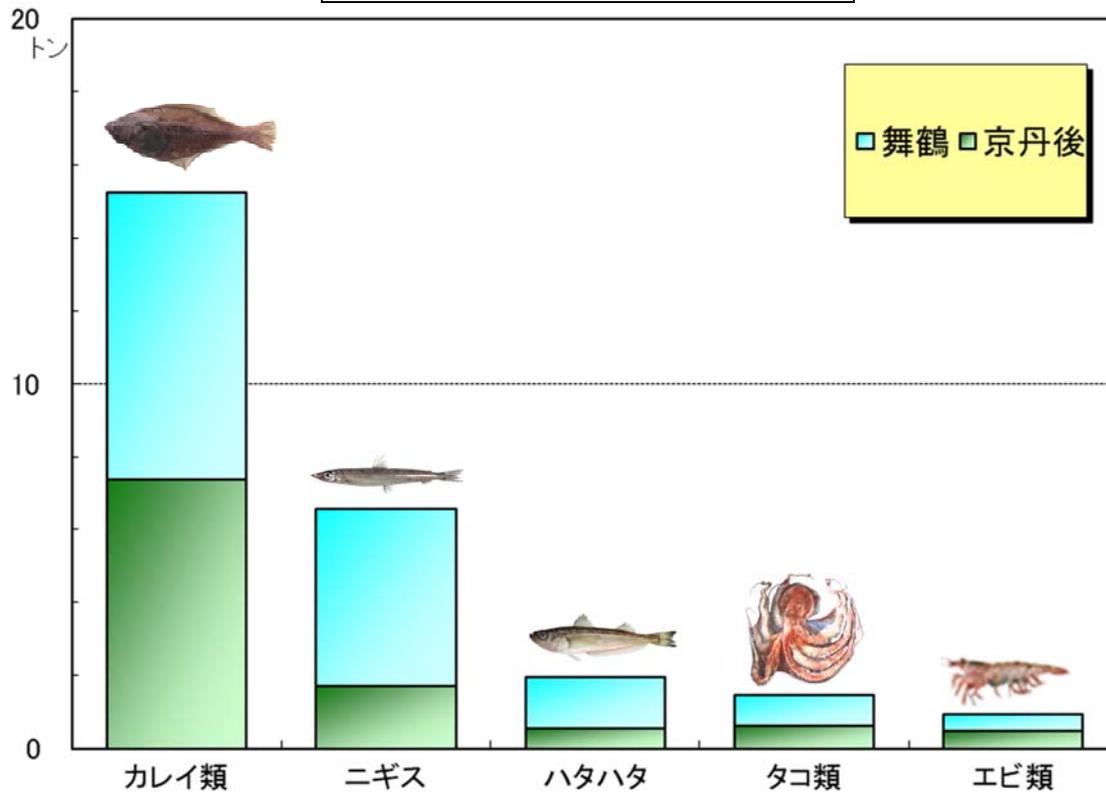
4月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	29.6	34.7 (85%)	40.2 (74%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が5割強, ソウハチ(えてがれい)が4割弱, ヒレグロ(黒かれい)が1割弱など でした。  <タイ類> マダイが7割弱,チダイが2割 弱,キダイ(れんこ鯛)が1割強な などでした。
ハタハタ	7.2	7.2 (100%)	28.4 (25%)	
ニギス(沖きす)	2.3	0.8 (280%)	1.4 (166%)	
タイ類	1.9	2.2 (87%)	1.8 (104%)	
タコ類	1.2	1.5 (82%)	1.9 (67%)	
エビ類	1.1	1.8 (61%)	1.7 (65%)	
スズキ	0.9	1.7 (53%)	0.9 (98%)	
タラ類	0.7	1.2 (61%)	0.6 (123%)	
アンコウ	0.7	0.8 (91%)	1.4 (49%)	
ヒラメ	0.6	1.2 (51%)	0.5 (112%)	
その他	6.8	10.5 (65%)	7.8 (87%)	
合計	53.0	63.5 (83%)	86.7 (61%)	

平年は過去10年平均

## 【5月】

全体の水揚量は、平年の6割(前年の8割強)と低調でした。

2017年5月の漁獲量(上位5魚種)



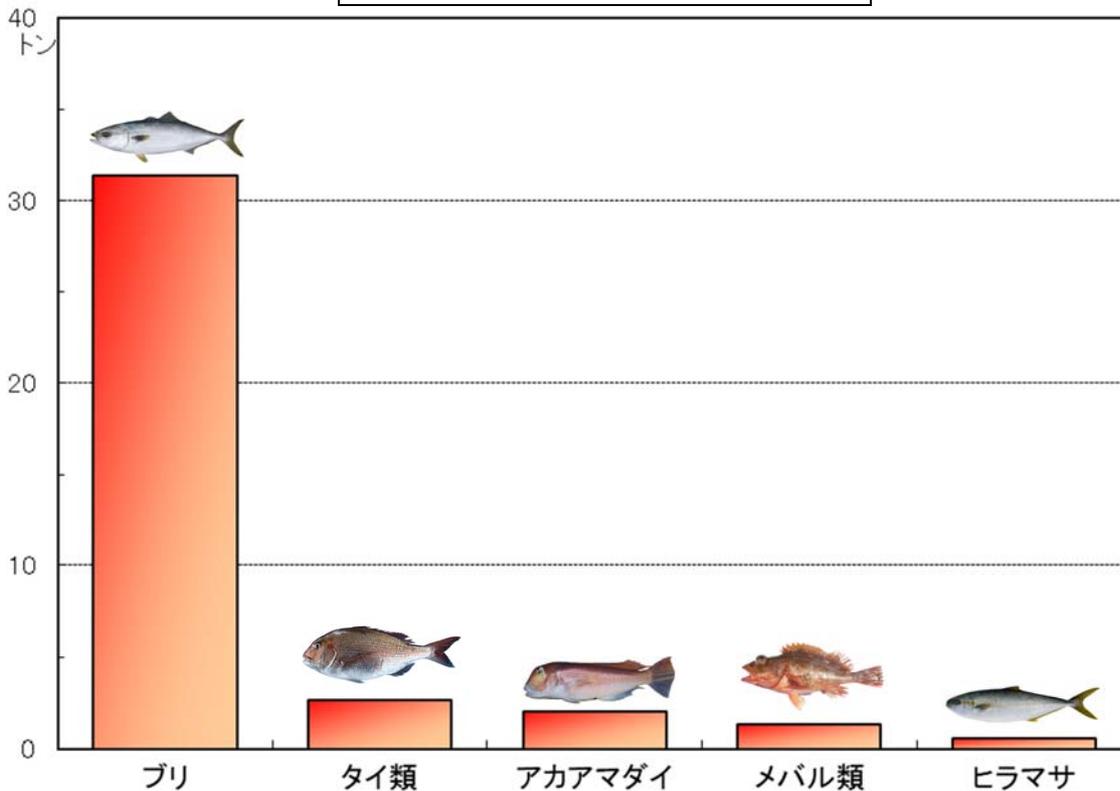
5月漁獲量(トン) 京都府漁協集計					
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)		備考
カレイ類	15.3	17.5 (87%)	26.3	(58%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が5割弱, ソウハチ(えてがれい)が4割弱, ヒレグロ(黒かれい)が1割弱な どでした。
ニギス(沖きす)	6.6	2.2 (298%)	2.6	(253%)	
ハタハタ	2.0	5.3 (37%)	12.5	(16%)	
タコ類	1.5	1.8 (83%)	2.0	(75%)	
エビ類	0.9	1.1 (84%)	0.8	(118%)	
タラ類	0.9	0.7 (129%)	0.8	(109%)	
アンコウ	0.6	0.5 (129%)	1.2	(52%)	
タイ類	0.5	1.7 (32%)	0.6	(99%)	
ヒラメ	0.5	0.6 (82%)	0.3	(153%)	
イカ類	0.3	4.6 (7%)	2.6	(13%)	
その他	3.7	4.2 (88%)	5.1	(73%)	
合計	32.8	40.2 (82%)	54.7	(60%)	

平年は過去10年平均

## 《釣り・はえなわ漁業》【3月】

全体の水揚量は、平年の2.1倍（前年の9割強）と好調でした。

2017年3月の漁獲量(上位5魚種)



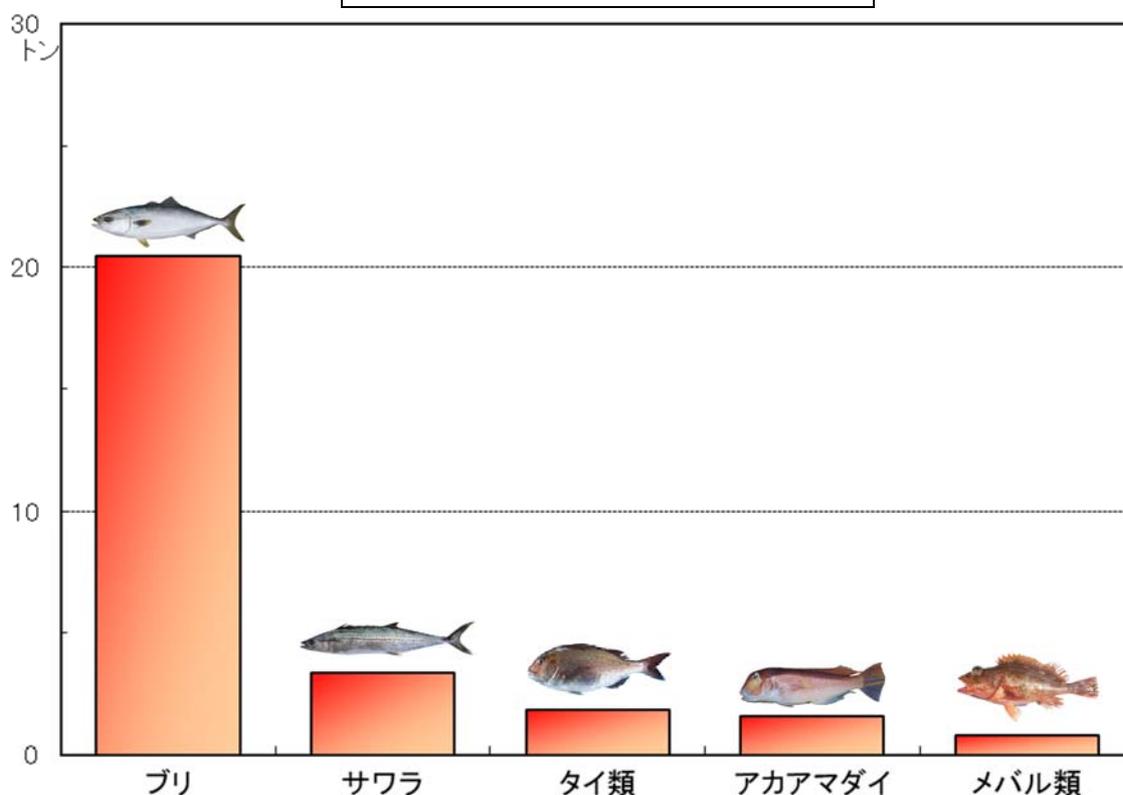
3月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
ブリ	31.4	34.8 (90%)	9.4 (333%)	<ブリ> つばす銘柄が4割強, ぶり銘柄が3割弱, はまち銘柄が2割弱, まるご銘柄が1割弱でした。  <タイ類> マダイが8割弱, キダイ(れんこ鯛)が2割弱などでした。
タイ類	2.7	2.4 (109%)	1.5 (181%)	
アカアマダイ(ぐじ)	2.0	1.4 (148%)	1.0 (198%)	
メバル類	1.3	1.3 (100%)	1.1 (117%)	
ヒラマサ	0.6	0.1 (401%)	0.1 (952%)	
サワラ	0.4	1.2 (31%)	3.8 (10%)	
ホウボウ	0.2	0.2 (146%)	0.1 (208%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	0.2	0.5 (39%)	0.2 (107%)	
タチウオ	0.1	0.1 (281%)	0.0 (1987%)	
メジナ(つかや)	0.1	0.1 (147%)	0.0 (296%)	
その他	1.1	1.4 (76%)	2.2 (49%)	
合計	40.1	43.4 (92%)	19.4 (206%)	

平年は過去10年平均

## 【4月】

全体の水揚量は、平年の8割強（前年の6割強）でした。

2017年4月の漁獲量(上位5魚種)



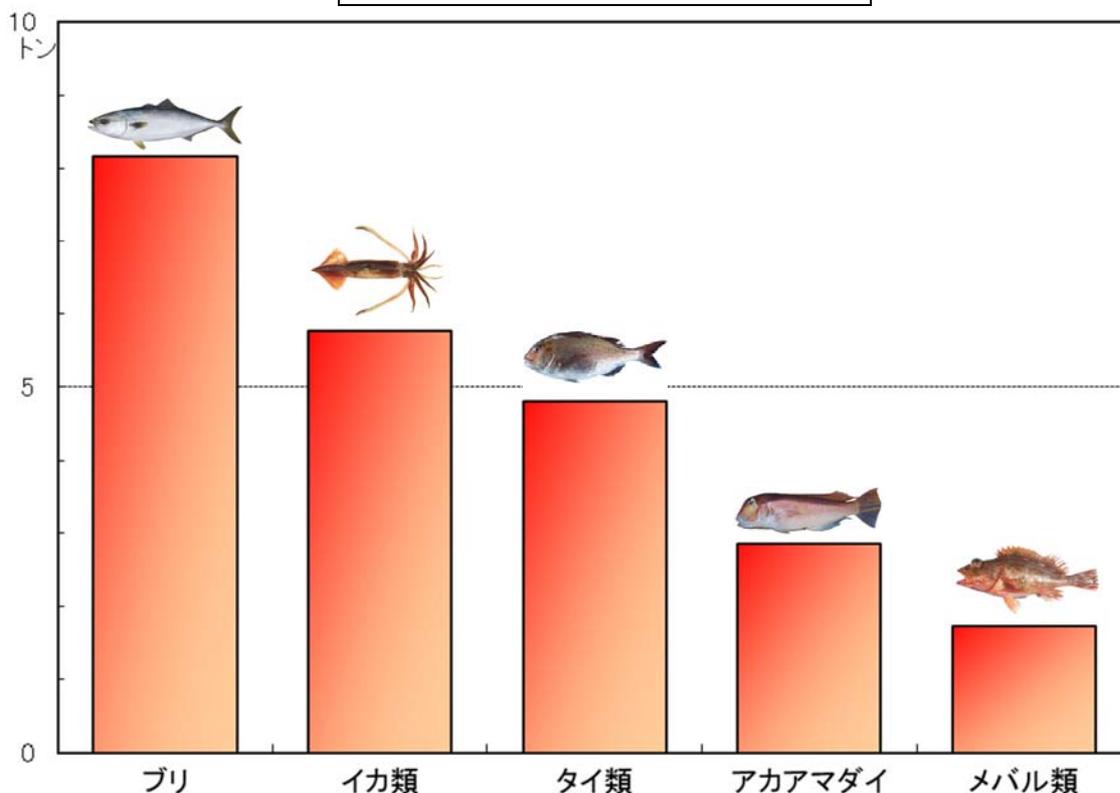
4月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
ブリ	20.5	32.1 (64%)	19.4 (106%)	<ブリ> ぶり銘柄が4割強, つばす銘柄が3割強, まるご銘柄が2割弱, はまち銘柄がわずかでした。
サワラ	3.4	2.1 (162%)	4.4 (76%)	
タイ類	1.8	5.0 (36%)	3.7 (48%)	
アカアマダイ(ぐじ)	1.6	1.5 (106%)	1.1 (143%)	
メバル類	0.8	0.8 (93%)	1.5 (54%)	
イカ類	0.4	4.2 (10%)	3.1 (14%)	<サワラ> さごし銘柄(体重 0.4kg 以上 1.0kg 未満)が8割弱, さわら銘柄(体重 1.0kg 以上 3.0kg 未満)が2割弱, さわら大銘柄(体重 3.0kg 以上)がわずかでした。
ヒラマサ	0.4	0.2 (217%)	0.1 (314%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	0.3	0.3 (106%)	0.2 (154%)	<タイ類> マダイが7割弱, キダイ(れんこ鯛), クロダイがそれぞれ2割弱などでした。
カレイ類	0.1	0.1 (86%)	0.1 (63%)	
スズキ	0.0	0.2 (30%)	0.6 (8%)	
その他	0.6	0.8 (68%)	1.9 (30%)	
合計	29.8	47.4 (63%)	36.2 (83%)	

平年は過去10年平均

## 【5月】

全体の水揚量は、平年の7割弱（前年の8割）と低調でした。

2017年5月の漁獲量(上位5魚種)



2月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
ブリ	8.2	9.4 (87%)	13.3 (62%)	<ブリ> ぶり銘柄が6割弱, まるご銘柄が3割弱, つばす銘柄が1割強, はまち銘柄が1割弱でした。
イカ類	5.8	7.7 (75%)	12.9 (45%)	
タイ類	4.8	5.2 (92%)	3.6 (134%)	
アカアマダイ(ぐじ)	2.8	2.2 (132%)	1.8 (159%)	
メバル類	1.7	2.0 (87%)	1.7 (101%)	
サワラ	1.3	4.7 (28%)	3.7 (36%)	<イカ類> スルメイカが9割以上でした。
ヒラマサ	0.2	0.1 (233%)	0.1 (189%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	0.2	0.4 (53%)	0.1 (233%)	
カワハギ(丸はぎ)	0.1	0.1 (106%)	0.0 (325%)	
ホウボウ	0.1	0.0 (306%)	0.0 (209%)	
その他	1.7	1.8 (96%)	3.1 (55%)	<タイ類> マダイが7割弱, キダイ(れんこ鯛)が2割強などでした。
合計	27.0	33.6 (80%)	40.3 (67%)	

平年は過去10年平均